

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題
(令和5年3月22日)

申請者名 (法人名) _____

受験者の氏名 _____

(注意事項)

- ※ 問題用紙は7ページあります。
- ※ 問題番号横の括弧は関係する法令等の標題を指し、問題文末尾の括弧は関係する法令等を指します。なお、設問文は、一部語句等を省略しているものもあります。

I. 次の問題1から問題18の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を
() 内に記入しなさい。

問題1 (安全衛生教育)

事業者は、労働者を雇い入れたときは、当該労働者に対し、厚生労働省令で定めるところにより、その従事する業務に関する安全又は衛生のための教育を行わなければならない。(労働安全衛生法)

()

問題2 (過積載の防止)

貨物自動車運送事業者は、過積載による運送の防止について、運転者その他の従業員に対する適切な指導及び監督を怠ってはならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題3 (輸送の安全)

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の最大積載量の1割を超える積載をすることとなる運送(以下「過積載による運送」という。)の引受け、過積載による運送を前提とする事業用自動車の運行計画の作成及び事業用自動車の運転者その他の従業員に対する過積載による運送の指示をしてはならない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 4 (運行指示書による指示等)

一般貨物自動車運送事業者等は、運行ごとに貨物自動車運送事業輸送安全規則に掲げる事項を記載した運行指示書を作成し、これにより自家用自動車の運転者に対し適切な指示を行い、及びこれを当該運転者に携行させなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 5 (欠格事由)

1年以上の懲役又は禁錮の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から3年を経過しないものは、一般貨物自動車運送事業の許可を受けることができない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 6 (過労運転の防止)

貨物自動車運送事業者は、休憩又は睡眠のための時間及び勤務が終了した後の休息のための時間が十分に確保されるように、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、運転者の勤務時間及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 7 (点呼等)

貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の乗務を開始しようとする運転者に対し、対面(運行上やむを得ない場合は電話その他の方法)により点呼を行い、酒気帯びの有無、安全な運転をすることができないおそれの有無、及び道路運送車両法第47条の2第1項及び第2項の規定による点検の実施又はその確認について報告を求め、及び確認を行い、並びに事業用自動車の運行の安全を確保するために必要な指示をしなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 8 (交通事故の場合の措置)

交通事故があつたときは、当該交通事故に係る車両等の運転者その他の乗務員は、直ちに車両等の運転を停止して、負傷者を救護し、道路における危険を防止する等必要な措置を講じなければならない。(道路交通法)

()

問題 9 (報告及び検査)

中小企業庁長官は、下請事業者の利益を保護するため特に必要があると認めるときは、親事業者若しくは下請事業者に対しその取引に関する報告をさせ、又はその職員に親事業者若しくは下請事業者の事務所若しくは事業所に立ち入り、帳簿書類その他の物件を検査させることができる。(下請代金支払遅延等防止法)

()

問題 10 (譲渡証明書等)

自動車を譲渡する者は、譲渡の年月日、車名及び型式、車台番号及び原動機の型式、譲渡人の氏名又は名称及び住所を記載した譲渡証明書を譲受人に交付しなければならない。(道路運送車両法)

()

問題 11 (従業員に対する指導及び監督)

貨物自動車運送事業者は、国土交通大臣が告示で定めるところにより、当該貨物自動車運送事業に係る主な道路の状況その他の事業用自動車の運行に関する状況、その状況の下において事業用自動車の運行の安全を確保するために必要な運転の技術及び法令に基づき自動車の運転に関して遵守すべき事項について、運転者に対する適切な指導及び監督をしなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 12 (定義)

貨物自動車運送事業法において、「一般貨物自動車運送事業」とは、他人の需要に応じ、無償で、自動車(三輪以上の軽自動車及び二輪の自動車を除く。)を使用して貨物を運送する事業であって、特定貨物自動車運送事業以外のものをいう。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 13 (運行管理者)

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務を行わせるため、運行管理者資格者証の交付を受けている者のうちから、運行管理者を選任しなければならない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 1 4 (輸送の安全性の向上)

一般貨物自動車運送事業者は、利益の確保が最も重要であることを自覚し、絶えず輸送の安全性の向上に努めなければならない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 1 5 (事故の報告)

一般貨物自動車運送事業者は、その事業用自動車は、程度の大小にかかわらず事故を引き起こしたときは、遅滞なく、事故の種類、原因その他国土交通省令で定める事項を国土交通大臣に届け出なければならない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 1 6 (作成及び届出の義務)

常時5人以上の労働者を使用する使用者は、就業規則を作成し、行政官庁に届け出なければならない。(労働基準法)

()

問題 1 7 (輸送の安全の確保を阻害する行為の禁止)

一般貨物自動車運送事業者は、貨物自動車利用運送を行う場合にあっては、その利用する運送を行う一般貨物自動車運送事業者又は特定貨物自動車運送事業者が輸送の安全に係る規定等を遵守することにより輸送の安全を確保することを阻害する行為をしてはならない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 1 8 (一時抹消登録)

一時抹消登録を受けた自動車(国土交通省令で定めるものを除く。)の所有者は、当該自動車が滅失した場合には、その事由があった知った日から15日以内に、国土交通省令で定めるところにより、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。(道路運送車両法)

()

II. 次の問題 19 から問題 24 の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題 19 (事業報告書及び事業実績報告書)

一般貨物自動車運送事業者は、貨物自動車運送事業報告規則に定める報告書を提出期限までに提出しなければならないことになっています。次の①と②の報告書の報告期間及び提出期限をア～カの中から選び記入しなさい。(貨物自動車運送事業報告規則)

- ① 事業報告書
- ② 事業実績報告書

- ア. 前年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの期間に係るものを毎年 3 月 31 日まで
- イ. 前年 4 月 1 日から 3 月 31 日までの期間に係るものを毎年 7 月 10 日まで
- ウ. 前年 10 月 1 日から 9 月 30 日までの期間に係るものを毎年 12 月 31 日まで
- エ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後 60 日以内
- オ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後 100 日以内
- カ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後 120 日以内

① () ② ()

問題 20 (運送約款の記載事項)

運送約款には必ず記載しなければならない事項がありますが、次のア～オのうち、当てはまらないものを 1 つ選び () 内に記号で記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則)

- ア. 運賃及び料金の收受又は払戻しに関する事項
- イ. 損害賠償その他責任に関する事項
- ウ. 運送の引受けに関する事項
- エ. 積込み及び取卸しに関する事項
- オ. 経営状況に関する事項

()

問題 2 1 (目的)

次の①及び②に当てはまる語句として正しいものを1つ選び、()に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法)

貨物自動車運送事業法は、貨物自動車運送事業の運営を適正かつ【 ① 】なものとするとともに、貨物自動車運送に関するこの法律及びこの法律に基づく措置の遵守等を図るための民間団体等による自主的な活動を促進することにより、輸送の安全を確保するとともに、貨物自動車運送事業の健全な発達を図り、もって【 ② 】の増進に資することを目的とする。

- ア. 効率的 イ. 合理的 ウ. 安定的
エ. 経済 オ. 利用者の利便 カ. 公共の福祉

① () ② ()

問題 2 2 (貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間については、労働省告示(平成元年2月9日労働省告示第7号)によって定められています。次の中から正しいものを3つ選び記入しなさい。(自動車運転者の労働時間等の改善のための基準)

- ア. 拘束時間は、1箇月について393時間を超えないものとする。こと。
イ. 1日についての拘束時間は、13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は、16時間とする。こと。
ウ. 勤務終了後、継続10時間以上の休息期間を与える。こと。
エ. 運転時間は、2日(始業時刻から起算して四十八時間をいう。)を平均し1日当たり9時間、2週間を平均し1週間当たり44時間を超えないものとする。こと。
オ. 連続運転時間(一回が連続十分以上で、かつ、合計が三十分以上の運転の中断をすることなく連続して運転する時間をいう。)は、4時間を超えないものとする。こと。

() () ()

問題 2 3 (運行記録計による記録)

貨物自動車運送事業輸送安全規則により運行記録計による乗務の記録が義務づけられる車両について、以下の文章の【 】内に当てはまる語句を下のア～キの中から選び記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

一般貨物自動車運送事業者等は、車両総重量が【 ① 】以上又は最大積載量が【 ② 】以上の普通自動車である事業用自動車に係る運転者の乗務について、当該事業用自動車の瞬間速度、運行距離及び運行時間を運行記録計により記録し、かつ、その記録を【 ③ 】保存しなければならない。

- ア. 4トン イ. 5トン ウ. 7トン エ. 8トン オ. 1年間
カ. 2年間 キ. 3年間

① () ② () ③ ()

問題 2 4 (許可の基準)

国土交通大臣は一般貨物自動車運送事業の許可の基準を定めているが、次の中で誤っているものを1つ選び () 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法)

- ア. 事業を自ら適確に、かつ、継続して遂行するに足る経済的基礎及びその他の能力を有するものであること。
イ. 事業の計画が過労運転の防止、事業用自動車の安全性その他輸送の安全を確保するため適切なものであること。
ウ. 事業の遂行上必要となる法人格を有するものであること。

()

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題
(令和5年3月22日)

申請者名 (法人名) _____

受験者の氏名 _____

(注意事項)

- ※ 問題用紙は7ページあります。
- ※ 問題番号横の括弧は関係する法令等の標題を指し、問題文末尾の括弧は関係する法令等を指します。なお、設問文は、一部語句等を省略しているものもあります。

I. 次の問題1から問題18の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を
() 内に記入しなさい。

問題1 (安全衛生教育)

事業者は、労働者を雇い入れたときは、当該労働者に対し、厚生労働省令で定めるところにより、その従事する業務に関する安全又は衛生のための教育を行わなければならない。(労働安全衛生法)

(○)

問題2 (過積載の防止)

貨物自動車運送事業者は、過積載による運送の防止について、運転者その他の従業員に対する適切な指導及び監督を怠ってはならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

(○)

問題3 (輸送の安全)

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の最大積載量の1割を超える積載をすることとなる運送(以下「過積載による運送」という。)の引受け、過積載による運送を前提とする事業用自動車の運行計画の作成及び事業用自動車の運転者その他の従業員に対する過積載による運送の指示をしてはならない。(貨物自動車運送事業法)

(×)

問題 4 (運行指示書による指示等)

一般貨物自動車運送事業者等は、運行ごとに貨物自動車運送事業輸送安全規則に掲げる事項を記載した運行指示書を作成し、これにより自家用自動車の運転者に対し適切な指示を行い、及びこれを当該運転者に携行させなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

(×)

問題 5 (欠格事由)

1年以上の懲役又は禁錮の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から3年を経過しないものは、一般貨物自動車運送事業の許可を受けることができない。(貨物自動車運送事業法)

(×)

問題 6 (過労運転の防止)

貨物自動車運送事業者は、休憩又は睡眠のための時間及び勤務が終了した後の休息のための時間が十分に確保されるように、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、運転者の勤務時間及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

(○)

問題 7 (点呼等)

貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の乗務を開始しようとする運転者に対し、対面(運行上やむを得ない場合は電話その他の方法)により点呼を行い、酒気帯びの有無、安全な運転をすることができないおそれの有無、及び道路運送車両法第47条の第1項及び第2項の規定による点検の実施又はその確認について報告を求め、及び確認を行い、並びに事業用自動車の運行の安全を確保するために必要な指示をしなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

(○)

問題 8 (交通事故の場合の措置)

交通事故があつたときは、当該交通事故に係る車両等の運転者その他の乗務員は、直ちに車両等の運転を停止して、負傷者を救護し、道路における危険を防止する等必要な措置を講じなければならない。(道路交通法)

(○)

問題 9 (報告及び検査)

中小企業庁長官は、下請事業者の利益を保護するため特に必要があると認めるときは、親事業者若しくは下請事業者に対しその取引に関する報告をさせ、又はその職員に親事業者若しくは下請事業者の事務所若しくは事業所に立ち入り、帳簿書類その他の物件を検査させることができる。(下請代金支払遅延等防止法)

(○)

問題 10 (譲渡証明書等)

自動車を譲渡する者は、譲渡の年月日、車名及び型式、車台番号及び原動機の型式、譲渡人の氏名又は名称及び住所を記載した譲渡証明書を譲受人に交付しなければならない。(道路運送車両法)

(×)

問題 11 (従業員に対する指導及び監督)

貨物自動車運送事業者は、国土交通大臣が告示で定めるところにより、当該貨物自動車運送事業に係る主な道路の状況その他の事業用自動車の運行に関する状況、その状況の下において事業用自動車の運行の安全を確保するために必要な運転の技術及び法令に基づき自動車の運転に関して遵守すべき事項について、運転者に対する適切な指導及び監督をしなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

(○)

問題 12 (定義)

貨物自動車運送事業法において、「一般貨物自動車運送事業」とは、他人の需要に応じ、無償で、自動車(三輪以上の軽自動車及び二輪の自動車を除く。)を使用して貨物を運送する事業であって、特定貨物自動車運送事業以外のものをいう。(貨物自動車運送事業法)

(×)

問題 13 (運行管理者)

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務を行わせるため、運行管理者資格者証の交付を受けている者のうちから、運行管理者を選任しなければならない。(貨物自動車運送事業法)

(○)

問題 1 4 (輸送の安全性の向上)

一般貨物自動車運送事業者は、利益の確保が最も重要であることを自覚し、絶えず輸送の安全性の向上に努めなければならない。(貨物自動車運送事業法)

(×)

問題 1 5 (事故の報告)

一般貨物自動車運送事業者は、その事業用自動車は、程度の大小にかかわらず事故を引き起こしたときは、遅滞なく、事故の種類、原因その他国土交通省令で定める事項を国土交通大臣に届け出なければならない。(貨物自動車運送事業法)

(×)

問題 1 6 (作成及び届出の義務)

常時5人以上の労働者を使用する使用者は、就業規則を作成し、行政官庁に届け出なければならない。(労働基準法)

(×)

問題 1 7 (輸送の安全の確保を阻害する行為の禁止)

一般貨物自動車運送事業者は、貨物自動車利用運送を行う場合にあっては、その利用する運送を行う一般貨物自動車運送事業者又は特定貨物自動車運送事業者が輸送の安全に係る規定等を遵守することにより輸送の安全を確保することを阻害する行為をしてはならない。(貨物自動車運送事業法)

(○)

問題 1 8 (一時抹消登録)

一時抹消登録を受けた自動車(国土交通省令で定めるものを除く。)の所有者は、当該自動車が滅失した場合には、その事由があった知った日から15日以内に、国土交通省令で定めるところにより、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。(道路運送車両法)

(○)

II. 次の問題 19 から問題 24 の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題 19 (事業報告書及び事業実績報告書)

一般貨物自動車運送事業者は、貨物自動車運送事業報告規則に定める報告書を提出期限までに提出しなければならないことになっています。次の①と②の報告書の報告期間及び提出期限をア～カの中から選び記入しなさい。(貨物自動車運送事業報告規則)

- ① 事業報告書
- ② 事業実績報告書

- ア. 前年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの期間に係るものを毎年 3 月 31 日まで
- イ. 前年 4 月 1 日から 3 月 31 日までの期間に係るものを毎年 7 月 10 日まで
- ウ. 前年 10 月 1 日から 9 月 30 日までの期間に係るものを毎年 12 月 31 日まで
- エ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後 60 日以内
- オ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後 100 日以内
- カ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後 120 日以内

① (オ) ② (イ)

問題 20 (運送約款の記載事項)

運送約款には必ず記載しなければならない事項がありますが、次のア～オのうち、当てはまらないものを 1 つ選び () 内に記号で記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則)

- ア. 運賃及び料金の收受又は払戻しに関する事項
- イ. 損害賠償その他責任に関する事項
- ウ. 運送の引受けに関する事項
- エ. 積込み及び取卸しに関する事項
- オ. 経営状況に関する事項

(オ)

問題 2 1 (目的)

次の①及び②に当てはまる語句として正しいものを1つ選び、()に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法)

貨物自動車運送事業法は、貨物自動車運送事業の運営を適正かつ【 ① 】なものとするとともに、貨物自動車運送に関するこの法律及びこの法律に基づく措置の遵守等を図るための民間団体等による自主的な活動を促進することにより、輸送の安全を確保するとともに、貨物自動車運送事業の健全な発達を図り、もって【 ② 】の増進に資することを目的とする。

- | | | |
|--------|-----------|----------|
| ア. 効率的 | イ. 合理的 | ウ. 安定的 |
| エ. 経済 | オ. 利用者の利便 | カ. 公共の福祉 |

① (イ) ② (カ)

問題 2 2 (貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間については、労働省告示(平成元年2月9日労働省告示第7号)によって定められています。次の中から正しいものを3つ選び記入しなさい。(自動車運転者の労働時間等の改善のための基準)

- ア. 拘束時間は、1箇月について393時間超えないものとする。
- イ. 1日についての拘束時間は、13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は、16時間とすること。
- ウ. 勤務終了後、継続10時間以上の休息期間を与えること。
- エ. 運転時間は、2日(始業時刻から起算して四十八時間をいう。)を平均し1日当たり9時間、2週間を平均し1週間当たり44時間を超えないものとする。
- オ. 連続運転時間(一回が連続十分以上で、かつ、合計が三十分以上の運転の中断をすることなく連続して運転する時間をいう。)は、4時間を超えないものとする。

(イ) (エ) (オ)

問題 2 3 (運行記録計による記録)

貨物自動車運送事業輸送安全規則により運行記録計による乗務の記録が義務づけられる車両について、以下の文章の【 】内に当てはまる語句を下のア～キの中から選び記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

一般貨物自動車運送事業者等は、車両総重量が【 ① 】以上又は最大積載量が【 ② 】以上の普通自動車である事業用自動車に係る運転者の乗務について、当該事業用自動車の瞬間速度、運行距離及び運行時間を運行記録計により記録し、かつ、その記録を【 ③ 】保存しなければならない。

- ア. 4トン イ. 5トン ウ. 7トン エ. 8トン オ. 1年間
カ. 2年間 キ. 3年間

① (ウ) ② (ア) ③ (オ)

問題 2 4 (許可の基準)

国土交通大臣は一般貨物自動車運送事業の許可の基準を定めているが、次の中で誤っているものを1つ選び()内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法)

- ア. 事業を自ら適確に、かつ、継続して遂行するに足る経済的基礎及びその他の能力を有するものであること。
イ. 事業の計画が過労運転の防止、事業用自動車の安全性その他輸送の安全を確保するため適切なものであること。
ウ. 事業の遂行上必要となる法人格を有するものであること。

(ウ)

四国運輸局

法令試験実施状況

実施年月	受験者数	合格者数
令和5年3月	1	1